

「沖縄タイムス（新聞）記事」のご紹介

校長 中村 成希

八洲学園大学国際高等学校（広域通信制課程普通科）のトップアスリート育成コースでは各種目において各々が目指すべき「文武両道」を見極め、世界基準で活躍できる人材を育成・輩出する事を目指しており、現在、「格闘技部門」「野球部門」「陸上部門」の3部門で活動しています。

この度、SUP（スタンドアップパドルボード）の世界大会などで優勝した経験がある、世界トップクラスの現役プロ選手「田口頼（たぐちらい）」氏（芸能スポーツクラスの卒業生）を総監督に迎え、2024年4月から新たに「**SUP部門**」を新設します。

SUP部門の事が沖縄タイムス（令和6年3月12日朝刊）に載っておりましたのでご紹介します。

【提供：沖縄タイムス社】

【本部】本部町備瀬にある通信制の八洲学園大学国際高等学校（中村成希校長）は4月から、「トップアスリート育成コース」にスタンドアップパドルボード（SUP）にSUP部門を新設する。同校を2022年に卒業し、18歳以下の世界大会優勝経験もあるプロ選手の田口頼さん（20）が総監督に就任する。同コースには陸上、格闘技、野球部門があり、SUP部門は四つ目。卒業生が総監督を務めるのは初めてで、田口さんは歴代最年少での総監督就任となる。

（北部報道部・松田駿太）



「大好きな母校で働けてうれしい」と話す田口頼さん（中央）と中村成希校長（右）、SUP部門に進む宮平琥太郎さん＝5日、今帰仁村内

八洲学園高にサップ部門



本部町備瀬

同校は2000年に日本初の合宿による短期集中スクーリング方式の通信制高校として開校。やりたいことに打ち込みながら高校卒業資格を得られることを強みにしている。

卒業生の田口さん監督

18歳以下世界一経験

て、世界各国で行われる大会への遠征や競技の練習に打ち込んだ。18歳以下の世界選手権を制覇し、全日本選手権も2連覇中。「母校で働けてうれしい。SUPは波や風など自然が相手で自分との戦いになる。技術だけでなくメンタルの大切さも教えたい」と意気込む。生徒たちにはオンラインで練習メニューを提案したり、年1回のスクーリング時に今帰仁村内の自宅で練習合宿を開いたり、世界水準の技術を伝える方針だ。

田口さんも在学中は時間を確保しやすい通信制の強みを生かし、田口さんが2連覇を果たした直近の全日本選手権で3位に入賞した宮平琥太郎さん(16)も同校1年IIも4月からSUP部門に進む。「(田口さんは)憧れの存在。指導を受けながら今年中に日本一を取りたい」と前を向いた。

中村校長は「卒業生の田口総監督を中心にSUP競技の裾野を広げてもらい、将来的にはオリンピック競技になってほしい」と期待した。

.....
スタンドアップパドルボード(SUP) サップ)を乗りこなす田口頼さん(提供)

格闘技部門のYouTube 番組のご紹介

校長 中村 成希

「トップアスリート育成コース」でお世話になっている「小比類巻貴之先生(格闘技部門)」の最新 YouTube 番組をご紹介します。

格闘技部門総監督 小比類巻 貴之

K-1 WORLD MAX 日本代表決定トーナメント 3度優勝の元K-1王者



<https://www.youtube.com/channel/UCt3fCg8q0MBn4hcUTEdK5w/featured>

〇〇〇は最後の手段。現役時代の減量について。

朝倉未来vs平本蓮 実現なるか？二人の実力と試合予想